



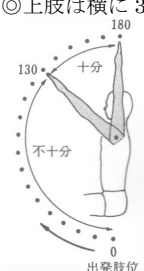

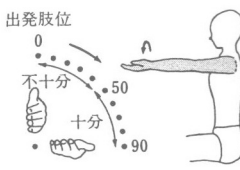


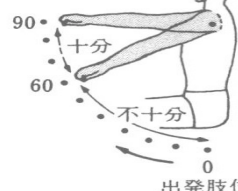

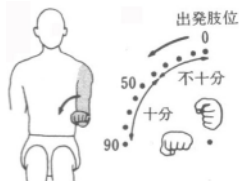

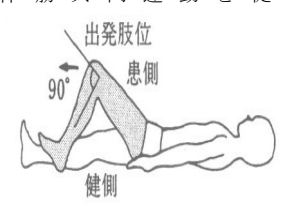
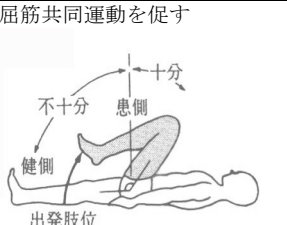
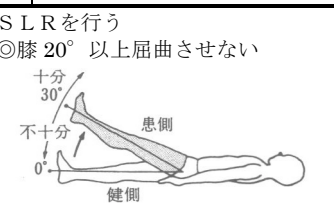
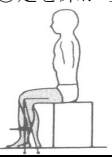

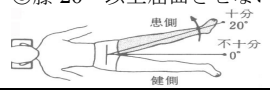
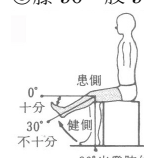




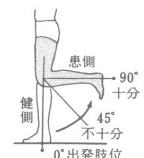
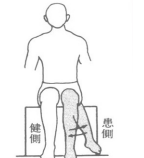




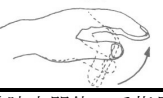




上肢

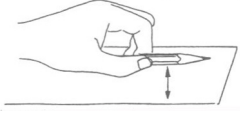
I II	1	連合反応 健側の肘を徒手抵抗に抗して伸ばさせる→このとき、患側の大胸筋の収縮をみる 	不十分(無) (I)		V 8	肘伸展位で腕を横水平に開く ◎肘 20° 以上曲がらない ◎上肢は真横から 20° 以上前方でない 	不可能	
			十分(有) (II-1)				不十分	5~25° 30~55°
	2	随意収縮 患側の手を反対側の腰へ伸ばす 	不十分(無)				十分	60~85° 90°
III	3	伸筋共同運動 出発肢位 	不可能		9	バンザイする ◎肘 20° 以上曲がらない ◎上肢は横に 30° 以上開かない 	不十分	
			可能	不十分			~乳頭 ~臍	十分
	4	共同運動 屈筋共同運動 	不可能		10	肘伸展位で前方に挙げたまま前腕回外 ◎肘 20° 以上曲がらない ◎肩 jt60° 以上前方挙上 出発肢位 	不十分	
			可能	不十分			~臍 ~乳頭	十分
IV	5	手を背中の中へ回す ◎体幹を動かさない 	不可能		VI 11	手先を肩につけ真上に挙上 10回 ◎肘 20° 以上曲がらない ◎肩 jt130° 以上挙上 	不十分	
			不十分	体側まで 体側を超えるが不十分			十分	脊柱より 5cm 以内
	6	腕を前方水平位にあげる ◎肘 20° 以上まがらない ◎肩 jt 水平内外転±10° 以内 	不可能				不十分	2倍 1.5~2倍
			不十分	5~25° 30~55°	11	肘伸展位で腕を横水平に開く 10回 ◎肘 20° 以上曲がらない ◎60° 以上の側方挙上 ◎上肢は真横から 20° 以上前方でない 	十分	
			十分	60~85° 90°			健側 患側	秒 秒
	7	肘を曲げ前腕回内 ◎肘は体側につけ ◎肘 90±10° 	不十分		肘が体側に つかない		不十分	
				十分		体側につくが 回外位 中間位保持 5~45° 50~85° 90°		十分
			不十分		肘が体側に つかない		2倍 1.5~2倍	
			十分		体側につくが 回外位 中間位保持 5~45° 50~85° 90°		~1.5倍	

I II	1	連合反応 健側を徒手抵抗に抗して内転させる→このとき、患側の動き、内転筋群の収縮をみる	不十分(無) (I)		
			十分(有) (II-1)		
	2	随意収縮 患側下肢を内転させ収縮をみる 	不十分(無)		
			十分(有) (II-2)		
III	3	共同運動 伸筋共同運動を促す 	不可能		
			可能	不十分	90~50°
				十分	45~25°
			不十分	十分	20~5°
十分	0°				
	4	共同運動 屈筋共同運動を促す 	不可能		
			可能	不十分	5~40°
				十分	45~85°
			不十分	十分	90° ~
十分					
IV	5	SLRを行う ◎膝 20° 以上屈曲させない 	不可能		
			不十分	十分	5~25°
				十分	30~45°
十分	十分	50° ~			
	6	足を床の上ですべらせ膝 100° 以上屈曲 ◎股 60~90° 保つ ◎足を床から離さない 	不可能(不十分)		
可能(十分)					
	7	踵を床につけたまま足背屈 	不可能(不十分)		
			5° 以上で可能(十分)		
予	1	膝伸展位で患側下肢の股外転をみる ◎踵を床につける ◎膝 20° 以上屈曲させない 	不可能		
			不十分	5~15°	
十分			十分	20° ~	
			不可能		
			不十分	90~65°	
十分	2	腰かけ坐位で膝伸展 ◎膝 90° 股 90~60° 	不可能		
			不十分	十分	60~35°
				十分	30~50°
十分	十分	0°			

V	8	股膝伸展位で足背屈 	不可能	
			不十分	可能だが底屈域内
	十分	背屈 5° 以上		
	9	膝伸展位で足背屈 ◎膝 20° 以上屈曲させない ◎股 60~90° 保つ 	不可能	
不十分			可能だが底屈域内	
十分	背屈 5° 以上			
10	膝屈曲位で中間位から股内旋 ◎股 60~90° 保つ ◎膝 90±10° 	不可能		
		不十分	5~15°	
		十分	20° ~	
予	3	股膝伸展位で足背屈 ◎股膝 20° 以上屈曲させない 	不可能	
			不十分	可能だが底屈域内
			十分	背屈 5° 以上
予	4	股伸展位のまま健側下肢で立ち膝屈曲 ◎膝 20° 以上屈曲させない ◎体幹の前傾に注意 	不可能	
			不十分	5~40°
			十分	45° ~
予	5	健側で立ち股外転 ◎膝 20° 以上屈曲させない ◎骨盤の傾きに注意	不可能	
			不十分	5~15°
			十分	20° ~
VI	11	股内旋を 10 回 ◎内旋が 20° 以上できることが条件 	健側	秒
			患側	秒
			不十分	2倍
				1.5~2倍
			十分	~1.5倍
予	6	直立位で踵を床につけたまま足先で床を 10 回たく ◎背屈 5° 以上できることが条件 	健側	秒
			患側	秒
			不十分	2倍
				1.5~2倍
			十分	~1.5倍

手指

II III	1	集団屈曲 前腕中間位、手指伸展位、手中間位～掌屈位 ◎健手 ROM を基準とする ◎全指が揃わないときは平均して判定 ◎MP、IP は足し合わせて判定 テスト動作： 		
	2	集団伸展 前腕中間位、手指屈曲位、手中間位～掌屈位 ◎健手 ROM を基準とする ◎全指が揃わないときは平均して判定 テスト動作： 		
IV	3	手関節分離運動 前腕中間位、手指屈曲位 (3/4 以上) ◎手背屈 ◎肘を机の上につき手を浮かせて行う ◎撓尺屈は ROM の 1/4 以内	不十分	ROM の 3/4 未満
			十分	ROM の 3/4 以上 (IV-1)
	4	指の分離運動 前腕中間位、全指屈曲位 (3/4 以上)、 手中間位～掌屈位で 4 指屈曲位での示指伸展 ◎母指から小指は自力で保てる範囲で判定 テスト動作： 	不十分	ROM の 3/4 未満
			十分	ROM の 3/4 以上 (IV-2)
V	5	指の分離運動 前腕中間位、手背屈 (1/4 以上)、 MP 伸展 (3/4 以上) での IP 屈曲 ◎背屈を保てる範囲で判定 ◎全指が揃わないときは平均して判定 	不十分	ROM の 3/4 未満
			十分	ROM の 3/4 以上 (V-1)
	6	前腕中間位、全指屈曲位 (3/4 以上)、 手背屈 (1/4 以上) で 4 指屈曲位での示指伸展 ◎背屈を保てる範囲で判定 ◎母指から小指は自力で保てる範囲で判定 	不十分	ROM の 3/4 未満
			十分	ROM の 3/4 以上 (V-2)
	7	前腕中間位、全指屈曲位 (3/4 以上)、 手背屈 (1/4 以上) で 4 指屈曲位での小指伸展 ◎背屈を保てる範囲で判定 ◎母指からIV指は自力で保てる範囲で判定 	不十分	ROM の 3/4 未満
			十分	ROM の 3/4 以上 (V-3)

VI	8	鉛筆を机の上から I, II 指の指腹つまみ で 5 回つまみ上げおろす (小数点 1 ケタ まで) ◎III~V 指 3/4 屈曲位が条件 	健側	秒
			患側	秒
			不十分	比が 1.0 より上、又は患側 8 秒以上
			十分	比が 1.0 以内、又は患側 8 秒以内
I II	9	健手に握力計を持たせ最大限に握らせた時に患指の屈曲がおこるかをみる	不十分	あり (I)
			十分	なし (II-1)